

特別

中部中・3 志賀 未来

特別と聞いてどんなことを思うだろう
周りと違っていること
非日常のこと

私の特別は初夏のある朝
テスト終わりに疲れて寝落ちして
気づいたら雨がポツポツ悲しく降っていた
やっちゃった
私の心も沈んでいた
ふと窓の外を見てみると
辺りはもう
すっかり明るく
すっかり晴れていた
普段は見られない朝の様子
思わず外に飛び出した
そこには

私の知らない世界が広がっていた
ひんやりと冷たく肌に触れる初夏の風
夜明けとともに活動を始めた虫の声
ゆったりと流れていく空に浮かんだ雲
そのすべてが
私の目には新鮮に映った
生まれたときから
何千何万と見てきた家の前の景色

それなのに

未知の世界に来たみたい

キャンパスの中に入ったみたい

その日初めて

新しい朝の顔を見た

なんだか特別な気持ちになった

もう一つ

家の巣で生まれた六匹のつばめ

彼らがくれた特別

はじめはとても弱かったのに

その日の彼らは

朝日を浴びて輝きながら

広い空を優雅に飛んでいる

その悠然と飛ぶ姿

とても美しかった

私も彼らのように成長したい

小さな鳥たちから

大切なことを教わった

特別な体験を通して

今の自分を見つめ直すことができた

私にとっての特別は

「今まで気づかなかったことを見つけるこ
と」

いつも通りの景色

視点を変えるだけで

一瞬で特別に変えることができる

これからも

たくさんの特別を見つけない
あの日見た景色のように